

7月17日：ビングループ関連が相場を押し下げ

ベトナム株は金曜日に下落して取引を終えた。ビングループ関連が相場の重しとなった。

ホーチミン取引所のVN指数は0.55%安の872.02ポイントで取引を終えた。

木曜日には0.8%高となり876.83ポイントで取引を終えていた。

出来高は2億7070万株で売買代金にして4.6兆ドンであった。

162銘柄の上昇に対して190銘柄が下落した。

VN30指数は0.69%安の814.16ポイントで取引を終えた。

ビングループ関連の3社であるビングループ (VIC)、ビンホームズ (VHM)、ビンコムリテール (VRE) がそれぞれ1.6%、1.2%、1.7%安となり相場を押し下げた。

FPTグループ (FPT)、ホアファット (HPG)、マサングループ (MSN)、ビナミルク (VNM)、ベトジェット (VJC)、モバイルワールドインベストメント (MWG) などの大型株が下落した。

工業団地関連が大きく上昇した。ベトナム国営ゴム (GVR)、フックホアラバー (PHR)、ソナデジロンタイン (SZL)、ソナデジチャウドック (SZC)、第二工業団地 (D2D)、キンバックシティ (KBC) などが上昇した。

ハノイ取引所のHNX指数は1.06%高の116.81ポイントで取引を終えた。

同指数は木曜日に0.27%安の115.59ポイントで取引を終えていた。

出来高は2380万株で売買代金にして2780億ドンであった。

バオベト証券によると、市場心理は第2四半期決算次第となっている。新型コロナによる悪影響の程度が懸念となる。

従って市場は今後も揉みあう展開が予想される。

不動産、卸売り、銀行、飲食料品、ゴム生産、IT、石油ガス、農業、建設などが下落。

保険、証券、水産加工、建設資材などは上昇した。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。